

# 歐米幼兒教育視察記 (二)

フレイベル館副社長  
法學士、文學士 高 市 慶 雄

## 私のコースの概略

世界教育會議終了後、暑い時候でありましたので、私は單身北に向ひ、スコットランドのエジンバラより、北海を渡りノルウェーのベルゲン港に上陸、フィヨルドの奇勝を探り、オスロを経てスエーデンのストックホルムに出で、水上飛行機にて、有名なる多島灣の上空を翔<sup>かけ</sup>り、フィンランドのヘルシンキに着きました。この國は、圖らずも今度次回オリンピック開催地の競争候補として我國と對立し、今夏新聞紙上を賑はした事は皆様も御記憶の處と思ひますが、元來東洋民族にて我國に頗る好意を寄せて居るのみならず、對露關係から政治的にも利害相通するものあり、其の上本邦人の渡來する事極めて稀有の由にて、私は其の官民から思ひ掛けない歡待を受け、施政、經濟、教育の實際を具に視察する便宜を供されました。また此の地の駐劄公使市河氏はこれ亦稀に見る懇切周到の士で、シベリヤ以來長途の勞を憐<sup>あは</sup>れ意味にて、首都から五十哩北方のオンメラ湖畔のさゝやかな料亭に私を招じ、一夕の宴を催されました。それはカラツミ晴れ渡つた初秋の空でした。此の國に滯留の全同胞に私、都合五人水入らずの楽しい會合でありました。湖上に輕舟を浮べて絲を垂れ、ツウストラミカラヴィントラスクミかいふ我々には珍らしい魚を釣つて、天ブラ風に料理してそのまゝ食膳に上して貰ひました。日本から送つて來た種で作つたさいふ葱、新菊、牛蒡、人參等がスキヤキ材料として現はれ、遠來の孤客をアツミ驚かせました。世界のはしの様に思つて居つたこの北の國で、然も人里離れた此の田舎で、こんな御馳走に與らうとは夢にも想ひ設けませんでした。この半日の清遊で、シベリヤ以來の疲勞が一時に解<sup>と</sup>れた様に感じました。偏陬の國を訪るゝ事

の勞苦を償つてなほ餘ある幸福で御座いました。

偏陋ミ沈滞ミは自ら別個の意味であります。事實に於て、世界中最も新しい建築ミ都市計畫ミの最も活潑に行はれてゐる所は、滿洲の新京ミ此のヘルシンキ市である事を私は發見したのであります。世界大戰後の新興國家なるフィンランドは、先づその首府の一角に素晴らしきモダーン、ブロックを現出させて居ります。超モダンの建築は續々完成へミ進められて居ります。こんなに活氣のある都市を歐洲大陸に於ては勿論、アメリカに於ても、私は他に見るを得なかつたのであります。殘念な事に夏季休暇中でありましたので、教育の實際を參觀し得なかつたのですが、校舍、園舎の諸設備の如き先進國にも餘り類のない新式且つ壯麗なものであります。

私は再び水、陸兩様の飛行機に身を託し、エストニアのタリン、ラトヴィヤのリガ、リスアニアのカウナス、ダンチヒ等バルチック海諸小國(何れも大戰後の新興國家)を飛訪しつゝ、東プロイセンのケーニヒスベルグに到着致しました。こゝに大哲カントの墓に詣で、またウンツェルミいふ獨逸第一の書肆を訪れて、兼ねて待望の色々の文獻を心ゆく迄涉獵しました。そして再びベルリン市に飛來したのは秋漸く酣ならんミする頃でありました。

心せくまゝに、伯林に足を停むる事僅に數日、ミュンヘンよりスハスに入り、チロール山中を横斷してウーリンに出でハンガリーのブタベストに向ひました。

此の國も大戰後獨立した新興國家の一つで、百萬の國都ブタベストはダニューブ河に跨る景勝の地を占め、溫泉氣分横溢、且つ新興清新の意氣に燃えて居ります。ダニューブミいへば、ウーリンもその河畔に在るのですが、ブタベスト迄下つて來て初めて詩趣を覺えます。日本の川は、奥利根、奥多摩等ミいつて、上流の方がよい事になつてゐますが、あちらの河は、悠揚迫らず廣々ミして水を一杯に湛へた下流の方が風趣があるのです。名高い「ダニューブの漣」の歌曲を吟み、

川魚に舌鼓を打ちつゝ、遙に想を故國の空に馳せた事であります。

此の國はまた東洋人種で、我國を宗主國として尊敬し、我々日本人を歓迎すること、これ亦フィンランドに勝ることも劣る事はありません。トビツクの數々は誌し盡せぬ程にありますが、一切を割愛させて頂きます。(フレール館發行の「ツバメノウチ」誌上に、トビツクの一部分を連載する豫定故御参照下さいますれば幸甚です)。

こゝからチェコスロヴァキアのブラーグ、ザクゼンのドレスデンを経て三度伯林に歸り、フレール先生の遺蹟探訪の爲めに獨逸の田舎を歴遊後、南歐の旅に立出したのは、十二月の初であります。ミュンヘンからチロールの嶮を縦斷して、トレント、ベニス、フロレンス、ローマ、ナポリからローマに引返し、ピサ、ミラノ、リヴィエラ諸邑、マルセイユを経て巴里に出で、四度伯林の土を踏み、靜養旁々數ヶ月をこゝに送りました。それからハンブルグより乗船、途中ロンドンに中憩、大西洋を横斷してニューヨークに着き、シカゴよりサンタ・フェー線に據りロスアンゼルスに出で、桑港から布哇經由、横濱に歸着、これが私の滿一ヶ年のコースの概略であります。此の間經由國數二十三、訪問の都市八十餘、其の各々で幼稚園又は託兒所を専門に見學して參つたのでありますが、その中、最も特色があり、對照の著しいと思ふ幼稚園數個を擧げて、御參考に供し度いと思ひます。

### ローマのモンテッソリー幼稚園

私が此の幼稚園を訪れたのは昨年十二月初頭で、前後三回に亘り參觀しました。

この幼稚園はチヘル河彼岸の天使通り二十二番地 *Viale Angelico 22* に在り、*Opera di Metodo Montessori* といふのが本名であります。只今では國立となつて居る關係上、參觀手續も仲々面倒で、先づ在伊帝國大使館の紹介により、伊太利文部省に、普通學務局長ドクトル・キアラモンテ博士を訪問、參觀の希望と趣旨を申述べました處、自分の權限に行かぬ



影近の史女ーリッテンモ



の中導指くし親を兒幼  
史女ーリッテンモ

22, Barcellona の由——待望の女史に面接を得なかつたのは遺憾でしたが、女史の高弟文學博士マッツォーニ女史 Prof.

ssa Dr. ssa Mazzoni に迎へられ、限なく園内を視察する事が出来ました。女史は三十歳前後、見るからスッキリ上品な、頗るフランス語に堪能なる學者タイプの先生であります。園舎や設備の點では、歐洲隨一は申さず共、歐洲第一流の立派なもので、鐵骨鐵筋コンクリート建であります。ローマの上流家庭の子女約八十名を保育致して居ります。今から約十年程前に此の國を訪れたさいふ人のお話を伺つて見ますと、その當時モンテッソーリ女史の新方法は未だ社會に認めらるゝに至らず、ナボリの貧民窟の幼稚園でその方法を實行してゐる所がある相ださいふ

さいふので、大臣室に同道、一時間近くも待つて、ムッソリーニの署名ある許可證を得て、漸く參觀に赴く事が出来ました。折しも伊太利は對エチオピア戰爭の最中であつた爲めこはいへ、ム首相の獨裁さいふか、一元的支配さいふか、如何に徹底せるかに驚嘆しました。さて目指すモンテッソーリ幼稚園に参りますと、創始者モ女史は、前述の如く、或る事情の爲めに目下動亂の甚なるスペインのバルセローナ市に移住の後で——モ女史の現住所は、バルセローナ市ガウヂューセル通り二

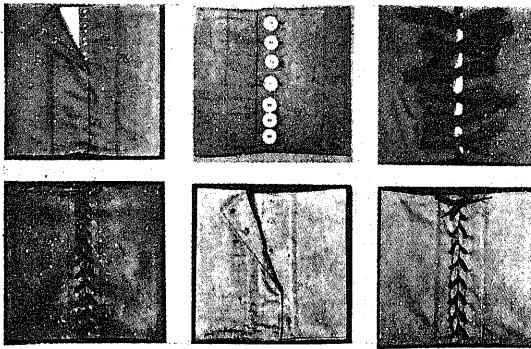
十二、モンテッソーリ學園内 Opera Montessori, Calle Gauduser

位の事であつた由であります。然るにファッション黨の勃興後、門氏の新式方法は果然ムッソリーニ首相の認むる所となりローマ市の目拔の場所にか様な立派な園舎が新築せられ、次いで國立に移されて、今日では、伊太利の誇りの一つに數へられて居るのであります。

さて此の幼稚園の根本思想は「科學的」な事にある相で、その方法 Method は、全面的にモンテッソリーの方法を採用、中にも感覺的訓練操作には、最も重きを置いて居ります。園長マッツォーニ女史の説明によれば、幼兒の一舉手、



(場の洗皿)練訓的庭家の園稚幼ーリソッテンモ



(方平櫃五十約)々色の具用練訓肉筋頭指

一投足の操作すら、科學的根據に基かぬものはないのだ相であります。大廣間で、一人々々別々の椅子ミテールブルが、プロゼクトメソド式に排列せられて居る中で、全園児が、十數名の保母の各個的指導に従ひつつ非常に大型のモンテッソリー用具を、盛んに——ミ申すより他に言葉がありません實に盛んに——使用して居る有様は一種の壯觀であります。私共は、廻廊風にしつらへられた二階から、一眼に見下す事が出来る様になつて居ります。

また、遊戲の如きも、割線上を踏みはづ



(習練覺觸)りぐさ手の地布でしくか目



(習練覺感)る知な形でりぐさ手



習練の定勘で板數計

さぬ様歩かしつゝ、之をなす仕組で、中にも、硝子のコップに水を入れて、滾さぬ様に劃線上を歩かせるこいふ操作は、他では殆んど見かけない事であります。或は家庭的訓練に申しまして、お掃除、ベッドの片附、洗面に嗽ぎ、皿洗ひ、お食事作法等を、夫々別々の美しい部屋で、頗るお行儀正しく、また形式を重んじつゝ、訓練させて居ります。

此の幼稚園の「科學的」操作は洵に感嘆の至りでありますが、餘りに科學に捉はれ過ぎてゐる傾向はないか、人生には「科學以上」の事もあるのではないか、また方法 Method に捉はれ過ぎてゐる結果、子供が稍々イヂけてゐる様にも感じました。中にも、目かくしをして布地を探つたり(感覺練習)、音を聞き分けたり(聽覺練習)等の操作を、メンタルテストの時許りでなく、毎日く繰返し行はせる事の如きは、果して健全なる保育方法に申し得べきや疑問であります。(但し、此處

で使はれてゐるモンテッソーリ用具は、我國現行のものゝ約五倍位大型であります。此の點は結構な事で、我國に於て改良の餘地あるものを感じました。

此の幼稚園におきまして、モンテッソーリ用具の使用方法を徹底的に見學するを得た事は幸でありましたが、過ぎたるは及ばざるが如しで科學の中毒的現象をも見逃し得ないと思考致します。事實に於て、子供は稍々運動不足で、日光と新鮮なる戸外の空氣に觸るゝこいふ事が少

く、健康増進といふ點に於て、遺憾の點なしは申されません(此の幼稚園の保育實況を、活動寫眞に撮影して参りましたので、講習會席上に於て上映寫して、参考に供しました)。

私は二週間このローマ市に滞在し、三回に亘り門氏國立幼稚園を參觀の合間に、ヴァチカン博物館其他の博物館に、古代及びルネッサンスの美術を探り、また一千數百年の傳統を誇る、ローマンカトリック教會の本山サンピエトロ寺を訪れ教主ローマ法皇ピオ第十一世に特別謁見の光榮を擔ひました。



るえ覺を字綴てつよに用使的具玩の母字



字文の初最たい書に目日十二後園入兒男の歳五滿



習練覺視で卷絲色の絲毛。